

国語科学習指導案

日 時:2005年12月7日(水) 3教時
児 童:5学年1名 6学年2名 計3名
指導者:

<5学年>

1、単元名 生き方を考えながら読もう

2、教材名 『みずさがしの旅』 矢崎節夫
—みんなちがって、みんないい

3、単元について

これまでの物語教材で、登場人物の気持ちなどについて考えてきた子どもたちは、ここではノンフィクションというジャンルで、実在の人物についてその生き方にふれる。筆者がどのような思いや願いを抱いて行動しているかを考えて読み、自分を見つめたり、子ども自身の生活へと還元できたりさせたい。この単元での学習が、6年生での伝記『田中正造』につながっていく。

筆者がなぜこれほどの情熱を持って、長い間「みずさがしの旅」を続けたのかということについて、叙述に即して読み取っていく中で、筆者が「みずさがしの旅」を続けた理由に気づいていくだろう。筆者の物の見方や考え方を読み取ることを通して、考えを広げたり深めたりできるようにしたい。

また、筆者の心に共感したり、みずさの詩の良さを味わったりできるようにするために、詩の音読を工夫し、しっかりと読ませたい。

<6学年>

生き方を考えながら読もう

『田中正造』 来栖良夫

『田中正造』は、学年の文学の最終単元で、伝記教材を読む単元であり、言葉を通して人間に対する認識を深めたり、自己を見つめたりすることを意図している。5年生でのノンフィクション『みずさがしの旅』での、筆者の思いや金子みずさの作品から、人の生き方について考えたものを受けての教材である。

鉋毒問題を解決するため、自己を犠牲にしてまで農民のために尽くした正造の生涯は、尊敬に値すると同時に、「こんな生き方はできない」という感想を持つ子も少なくないだろう。人物の生き方を多面的にとらえ、その生き方に対して何らかの自分の意見を持つことで、考えを広めたり深めたりするきっかけにし、「正造の生き方から学べることは何か」という視点に立って読み取らせるようにしたい。

また、かなりの長文のうえに時代背景や用語が難しいので、課題解決に入る前に理解を図りたい。

4、児童の実態

(1)全体像

異内容指導の学習では、他の学年の学習に惑わされずに、課題に対して、最後まで集中して取り組むことができる。

音読や漢字の読み書きは困らない程度にできる。課題が終わったら自分なりに読み返したりしながら待つことができる。見通しを持って学習を進めることがまだなので、ひとつひとつ指示が必要。

作業時間に個人差があり、Sが「待つ」ことが多い。「待ちを作らない」手立てはまだ身に付いてはいない。友だちの考えに対して自分なりの考えを持って聞くことができるが、発表し合って終わりという段階。

(2)個人の実態と手立て(省略)

5、教材の目標

■書き手の物の見方に触れ、自分の考えを広げたり深めたりしながら読む。

■事実と感想の関係を押さえながら読み、人物の生き方について自分の感想や意見をはっきりさせて読む。

6、教材の評価規準

- ◇作者の気持ちや思いを読み取り、わかりやすく表現しようとする。
- 自分の感想や考えをわかりやすく工夫して話す。
- 作者の行動・物の見方や考え方について自分の感想を書く。
- 時間の経過を追って正しく読みとっている。
- △様子を表す言葉の意味を理解する。

- ◇正造の生き方について自分の考えを進んで発表しようとする。
- 正造の生き方についての意見を、内容を工夫して話す。
- 正造や農民の言動についての意見や感想を書く。
- 時代背景や正造の生き方について叙述に即して読んでいる。
- △文末表現について理解する。

6. 指導計画

5学年 (全9時間)			6学年 (全10時間)		
学習内容	評価規準と方法	時数	学習内容	評価規準と方法	
		1/10	<ul style="list-style-type: none"> 単元のめあての確認 全文読み、一次感想 新出漢字、語句調べ 	◇学習の見通しを持ち、興味を持って学習に参加している。(態度) □正造や農民の言動についての意見や感想を書く。	
		2/10	<ul style="list-style-type: none"> あらすじ 学習課題作り 学習計画 	◇自分なりのめあてを持つとしている。(態度) △文末表現について理解する。(発表)	
<ul style="list-style-type: none"> 単元のめあての確認 全文読み、一次感想 新出漢字、語句調べ 	◇学習の見通しを持ち、興味を持って学習に参加している。(態度) □作者の行動・物の見方や考え方について自分の感想を書く。(ノート)	1/9	3/10	(一)の場面 時代背景をつかむ 正造の生い立ちについて年表にまとめる	■時代背景や正造の生い立ちについて叙述に即して読んでいる。(ワークシート・発表)
<ul style="list-style-type: none"> あらすじ、場面分け 学習課題作り 学習計画 	◇自分なりのめあてを持つとしている。(態度)	2/9	4/10	(二)の場面 足尾銅山と渡良瀬川沿岸の様子をまとめる	○叙述を根拠に自分の意見や感想を話す。(発表) ■経過と被害について読み取っている。(ノート)
(一)の場面 「みすゞさがしの旅」を始めるきっかけや筆者の気持ちを考える 『大漁』の音読・暗唱	◇作者の気持ちや思いを読み取り、わかりやすくまとめようとする。(態度) ○読み取ったことをわかりやすく話す。(発表)	3/9	5/10	(三)の場面 鉱毒事件と、それに向き合う正造の様子についてまとめ、自分の考えをまとめる	◇自分の考えを進んで発しようとする。(発表) ■正造の様子や心情を考えながら読む。(発表・音読)

(二)(三)の場面 「みずさがしの旅」を続ける 筆者の気持ちを考える 1	■筆者の気持ちを表す言葉を見つけ、気持ちを考えている。 (書き込み)	4/9	6/10	(四)の場面 「おしだし」の様子と正造の行動を読み取り、自分の考えをまとめる	□正造や農民の言動についての意見や感想を書く。 (ノート)
(四)の場面 「みずさがしの旅」を続ける 筆者の気持ちを考える 2	○自分の感想や考えをわかりやすく工夫して話す。(発表)	5/9	7/10	(五)の場面 「誓願」の様子と正造の行動、政府の対応を読み取り、自分の考えをまとめる	■叙述に即して要点をとらえて読んでいる。(ノート・発表) ■人物の心情を想像しながら音読をする。(音読)
(五)の場面 みずさの弟に会ったときの 筆者の気持ちを考える	■時間の経過を追って正しく読みとっている。(ノート) △様子を表す言葉の意味を理解する。(発表)	6/9	8/10	(六)の場面 国会を辞めた正造と、直訴の様子を読み取り、自分の考えをまとめる	○正造の行動・心情について読み取ったことや意見を、内容を工夫して話す。(発表)
(六)の場面 みずさの全作品にたどりついたときの筆者の気持ちを考える 『わたしと小鳥とすずと』の音読をする	◇作者の気持ちや思いを読み取り、わかりやすく表現しようとする。(態度) ■手がかりになる言葉を見つけ筆者の気持ちを考えている。(書き込み)	7/9	9/10	(七)の場面 谷中村と正造の最期の様子について読み取り、正造の残したのから読み取れるものについて考える	◇課題にそって、自分の考えを進んで発表しようとする。(態度) ■正造の様子や心情について叙述に即して読み取る。(発表・書き込み)
・ 筆者の「みずさがしの旅」に対する、自分の感想・意見をまとめる。(二次感想)	□作者の行動・物の見方や考え方などについて自分の感想を書く。(ノート)	8/9	10/10	正造の生き方や考え方について、感想や意見をまとめる	□正造の生き方についての意見や感想を書く。(ノート) ○正造の生き方についての意見を、内容を工夫して話す。(発表)
・ 他の金子みずさの作品を読み、みずさの視点や、作品に対する感想をまとめる。	○自分の感想や考えをわかりやすく工夫して話す。(発表)	9/9			

7、本時案

(1) 本時について ※本時場面についての要約や展開上の留意点・教師のねらい等

「みずゞさがしの旅」を始めて16年後、筆者は三冊の手帳を手にした。全部で512編もの作品に出会い、作者の「みずゞさがしの旅」が終わるという場面である。

これまでの学習で児童は、金子みずゞの作品に心を動かされ、何年もかけて探し続けた筆者の気持ちを読み取ってきており、この場面での筆者の喜びは想像しやすいと思われる。

読み取る手立てとして、本文から手がかりになる言葉を見つけ、その時の気持ちを想像して書き込みをし、ワークシートを使ってまとめていく。叙述に即して正しく読み取り、そこから考えられることを豊かに想像させたい。

また、筆者の気持ちに共感したり詩の良さを味わうために、まとめの活動として音読(朗読)を取り入れた。

政府が鉱毒対策として谷中村をとりつぶすと言い、それをやめさせるために正造は運動を続けた。しかしそのうちに正造が倒れ、わずかな遺品を残して死んだ場面である。

実際に歴史の中でどんなことが起こったのかを叙述に即して理解し、そこに住む人たちや、正造はどんな思いだったのかを豊かに想像させたい。そのうえで、正造が残した言葉やものから、正造の生き方について読み取れることは何かを考えるという展開になる。

子どもたちからは、「政府はひどい」「正造はかわいそう」といった感想は出てくるとは思うが、深く読み取るのは少し難しいと考えられる。ワークシート等を有効に使って、考えをうまくまとめさせたい。

次時では学習したことをもとに、正造の生き方や考え方について、一人一人の感想や意見をまとめる。正造の生き方にふれて感じたことを、友だち同士で交流し、多様な考え方を認め合わせたい。

(2) 本時の目標

★ みずゞの作品にたどり着いた筆者の気持ちを考える。

- 作者の気持ちや思いを読み取り、わかりやすく表現しようとする。
- 手がかりになる言葉を見つけ筆者の気持ちを考えている。

★ 正造の死について読み取り、その生き方について考える。

- 課題にそって、自分の考えを進んで発表しようとする。
- 正造の様子や心情について叙述に即して読み取る。

(3) 本時の展開

<5学年>

<6学年>

評価のポイント *留意点	学習内容と児童の活動	段階	直間	教師の関わり	直間	段階	学習内容と児童の活動	評価のポイント *留意点
	<p>本時の課題を確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>みずゞの全作品にたどりついた時の 筆者の気持ちを考えよう。</p> </div>	①		<p>本時の課題を確認する</p> <p>* 個別学習の方法とポイントの確認をする。</p>		④	<p>前時の場面に合った小見出しをつける</p>	<p>* 前時のワークシート</p>
<p>* チェックカード</p> <p>「全部で五一二編もの作品」</p> <p>「なんと十七倍もの数」</p> <p>「わずか五年間に書いた」</p> <p>「たどり着くことができた」</p> <p>■手がかりになる言葉を見つけ筆者の気持ちを考えられている。</p>	<p>個別課題追求</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文を音読する 手がかりとなる表現を探してラインを引く。 考えられる気持ちなどを書きこむ。 	②		<p>本時の課題を確認する</p> <p>* できごとを読み取ること、人物の気持ちを想像することを確認する。</p>		①	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>谷中村と正造の最期について読み取り、 正造の残したものについて考えよう。</p> </div> <p>個別学習の方法と観点の確認をする。</p>	<p>* チェックカード</p> <p>「思うに任せなかった」</p> <p>「下野の百」とはだれ？」</p> <p>「被害地の視察」</p> <p>「七十一歳」</p>
<p>◇作者の気持ちや思いを読み取り、わかりやすく表現しようとする。</p>	<p>考えたことを発表する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; border-radius: 10px; width: fit-content;"> <p>こんなにたくさん うれしい すごいなあ やっとみつけた</p> </div>	③		<p>発表を聞き、不明な点を補足しながら、整理して板書をする。</p> <p>* 『『金子みずゞ全集 全三巻』を世に出す』とは？</p>		②	<p>個別課題追求</p> <ul style="list-style-type: none"> できごとを年表に整理する わかることを書きこむ。 <p>・正造の残した言葉ともとのから、読み取れることをそれぞれ考える。</p>	<p>* ワークシート(年表)</p> <p>* チェックカード</p> <p>■正造の様子や心情について叙述に即して読み取る。</p>

